

一、緊急動議

岡 五 郎 提 出

旭ベンベルグ争議不當彈壓抗議ニ關スル件

昨年十一月一日ニ旭ベンベルグ争議ガアツタ。然シ今後ソノ影響スル處ハ頗ル大デアルト思ウ、該争議勃發後間モナク電力線破壊事件ガ起ツタノデアルガ何故カ不當ニモ我々ノ同志百四十名ノ争議團員ヲ會社ト警察ガ結托シテ總檢束シタ、該會社ハ高率ナル配當ヲナシテイルノデ我々ハ當然ノ要求ヲ持ツテ立チ上ツタ而カモ我々ハ交渉ニヨツテ解決セントシテ居ツタノデアアル。法治國家ニ於テハ生命財産ヲ保障サレテ居ルノデアアル、不當ニ檢束セントスル警察當局ハ法治國家ノ破壊者デアアル（中止）

大矢 巖 長

該争議ノ爆發事件ニ對シテ一應ハ當局モ神デナイ限り争議團員ニ對シテ疑ヒヲ持ツデアロウ然シ電力爆發現場ノ者ヲ檢束セズ

シテ争議團員ヲ檢束シタト云ウコトハ當局ノ計畫的ナ争議團撲滅ダト認メラルス様ナ物ノ考ヘ方ニ對シテ警告ヲ發シナケレバナラナイ

如斯觀點カラ本動議ガ提出サレタト思ウノデ内務、司法兩省ニ警告シタイ。故ニ本大會ノ名ヲ以テ決議文ヲ作成シテ抗議シタイ

トテ議長ハ決議文作成ニ關シ岡五郎、神山勝治郎、山本富嘉ヲ任命シ左記決議文ヲ可決ス

決 議 文

昭和八年十一月一日大津市購所栗津町所在旭ベンベルグ株式會社ニ於テ勞資ノ紛議表面化スルヤ、大津警察署ハ極度ノ彈壓的態度ニ出ヅルニ至ツタ、カ、ル裡ニ十一月三日夜突如トシテ會社内電力線爆發事件ガ勃發セリ。而ルニ大津署ハ縣刑事課ノ應援ヲ得テ即夜總動員ノ下ニ栗津町二丁目所在ノ従業員集合所ニ